

議員全員協議会会議録

1 開会日	平成23年10月14日 午後 1時30分 開会 午後 4時01分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	渡辺順子 奥津勝子 二宮加寿子 土橋秀雄 三澤龍夫 片野哲生 竹内恵美子 高橋富美子 鈴木京子 高橋英俊 吉川重雄 関 威國 坂田よう子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎久雄町長 鈴木首席理事 二挺木理事 依田教育長 相田理事 森田政策課長 岩本総務課長 大隅子ども育成 課長 増尾子育て支援室長 押野副主幹
5 職務のため出席した職員	局 長 飯田 隆 書 記 山口 芳弘
6 協議等の事項	(1) 議員期末手当及び政務調査費の見直しについて (2) 選挙管理委員会委員及び補充員の選出について (3) 大磯町議員研修会について (4) その他
7 その他	一般傍聴なし

(1) 町長あいさつ

「第2回卓話集会の開催」、「子ども議会の開催」、「町施設の節電対策取り組み結果」、「平成24年度 予算編成方針について」、「防災関連」、「国府中学校吹奏楽部の活躍」など最近の町の動きについて話しがあった。

(2) 町報告事項

ア「大磯町と東海大学の包括的な提携に関する協定書（案）について」政策課から説明があった。

◎主な質疑

問. 東海大学との図書の貸し出しはどの項目になるか。事業計画を作成し、とあるが、予算が伴うのか。

答. 図書の貸し出しは第2条の7項で読み取りたい。

予算は委員謝金という事で発生すると認識している。今後事業計画ができた時に予算が伴うものが出でくると考えている。

問. 伊勢原市の事業計画では審議会への参加者が多いが、今後、議会にやりとりについて説明してもらえるのか。また、事業計画の策定も東海大学に請け負ってもらうのか。

答. 人材派遣があるが、こちらは議会にもお知らせしていく。また任期などはあるが、人材を探す時には、担当課にもこの協定を活用してもらいたいと考えている。

計画策定では、まだ具体的なものはないが、そのときは東海大学との協定を踏まえて協議し、派遣、調査を考えたい。

問. 何を目的にするのか見えない。受け入れる基盤、体制が町にあるのか。どうしてやるのか疑問。これをやる前に、幼稚園を売った時の問題、病院の増設、産科の問題についても、やるべき問題を片づけてからではないか。これが必要なんだと、はっきりしてない。職員の負担が増えるだけではないか。

答. 大学との協定は、町民の文化活動の推進、学術や産業分野での大学の持つ専門的技術や知識、研究活動を通じ、町と大学が相互に発展、協力することが目的である。大学の知的財産を利活用しまちづくりを進めていきたい。

問. まちづくり審議会に東海大学の先生に入っているが、これからはどうなるのか。

答. 今まちづくり審議会に建築学科の先生に入っている。町としても専門の部分を探すときに、この協定をひとつの探す材料として活用してもらえたらと考えている。全て東海大学でということではな

い。

問. 東海大学大磯病院の増築・建て直しのことはどうなるのか。当初の考えは継続しているのか。この協定を結ぶことは、全体の動きに関連するのか。

答. 東海大学病院の拡張計画、増築計画であるが、継続している状況である。

大学としては、大磯だけでなく全国の東海大学レベルでの事業計画を再構築した中で計画を進めている状況であり、お互いに情報交換をしている。今しばらく待ってほしいという話しは受けている。

この協定と増築計画は直接的には関係はないが、医療分野などで提携、連携を図っていくことはあるため、関係が全くないということではない。

問. 協定書第2条第1項第2号に記載はあるが、それ以前の問題として国小プール、おあしす24などがあるが、町民の声をどのように生かしていくのか。トラブルが生じて職員の労力を使わせている状況であるが、支障が生じているのか、いないのか。

答. パブリックコメントなど町民の声を適正な段階で聞いていく、タイミングを見て声を聞いて反映させていく。すべて支障なくできているわけではないが、適切なタイミングで説明をして支障なくできている部分も多分にあると考えている。

問. タイミングを見てパブコメ、関係団体へ説明を行うというが、タイミングは、誰が、どう判断するのか。

答. 町民の方の考えをどのように取り入れて行くのか、定型的なものは今までなかったが、自治基本条例ができて幹ができた。その中で運用、考え方を将来に向けて物ごとの決定において、意見をどう取り入れて説明していくか考えていきたい。

問. 過度の節電は職員の健康を意識してもらおう点から質問した。取り組みは誰が命令しているのか。職員の意見をよく聞いて実施してもらいたい。

答. 町だけの問題ではなく国を挙げて実施している。昼休みの消灯は以前から自主的に行っていた、健康面の直接的な影響はなかったと思う。結果的に30%の節電ができた。

問. この協定書が、今回初めて示された。一般質問でシンクタンクの構想のことは聞いたが、東海大学をその中の提携などの視野に入れているのか。

協定を締結する時期はいつか。また協定で予算が発生するのは人件費、委託料か。

答. 今後のまちづくりの根本的な見直しをかけていく中で、大学の知識などを利用させていただく、そのようなことを視野に入れて、協定を締結

したい。

今年2月から投げかけをしており、目標として年内に協定を結びたい。そして平成24年度に事業計画を策定したいと考えている。予算は事業計画ができ、委託料、人件費が出てくれば発生する。

提携を先にしてから、各事業を行っていくものであり、先ず提携をして、それから先に進むものと認識している。

問. 伊勢原市、秦野市は他の大学と行っているのか。

答. 平塚市では神奈川大学、秦野市は上智短期大学と行っている。本町も今後、神奈川大学へも話をし、協議していきたい。

イ「小磯幼稚園の民間幼稚園移管に伴う合意事項覚書（案）について」子育て支援室から今までの経過と覚書（案）の説明があった。

◎主な質疑

問. 覚書18項目、ここにへたに縛られない表記になっていないか。園服とかはどうなるのか確認したい。

答. 園服、バック等は「こいそ幼稚園」と調整して予算措置したい。それから私立幼稚園への補助も町単独で行ってきたい。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

議長から、監査委員のスケジュールを入れたらどうかと指摘があった。次回から入れることにする。

(4) 主な報告事項

① 委員長等からの報告

○10月14日 議会運営委員会 高橋(英)委員長
町長への要望は、正副議長から伝えていく。

○10月3日・7日 議会だより編集委員会 鈴木委員長

② 9月26日 農業委員会総会 農業委員(片野議員から報告)

③ 行政視察について

10月5日 千葉県一宮町議会視察来庁(議会基本条例・報告会・中継・議会広報) 渡辺議長

④ その他

(3) 協議事項

① 議員期末手当及び政務調査費の見直しについて

特別委員会審査報告書検討事項に関する各議員の意見を基に討議を行い、期末手当の率を4.15とし、0.25引き下げることと合意し、12月議会定例会に提案することとした。また、政務調査費は報告書のとおり、

18万円を政務調査費として12万円、会議・委員会活動経費として6万円に分けることで合意した。財源は一般会計への充当とし、議会として予算要求の中で研修費等の充実を図る。予算要望あれば10月中に事務局まで連絡することとした。

② 選挙管理委員会委員及び補充員の選出について

4年前に選出事務を行っているが、平成23年12月22日に現選挙管理委員会委員の任期が満了する。委員は議会での選挙であるため、委員・補充員候補者について地区（7地区）ごとに担当する議員が選考し、書面を事務局へ提出することとした。提出期限は、11月18日までとした。

③ 大磯町議員研修会について

講師及び演題の案を討議した。演題は地震関係とし、大磯に関連する話しが良いという要望があった。

④ その他 なし

(4) 事務局からの報告

① 総務建設常任委員会行政視察について

11月10日(木)・11日(金) 岩手県釜石市(震災復興計画・防災教育)・遠野市議会(震災後方支援)

② 町村議会議員研修会について 11月25日(金) 午後1時15分～箱根町立仙石原公民館。

J A大磯支所前で5名乗車、途中で昼食をとる。出発は10時30分に早まる。

③ 視察来庁予定

○北海道松前町議会(議会運営・議会広報) 10月20日(木) 午前10時～(議長、副議長、議運委員長、二宮議員)

○福島県会津坂下町議会(子育て支援について) 11月8日(火)午後1時30分～(議長、町子育て支援室)

④ その他

本日「国府小プール」に関する要望書を受け取った。町長にも提出されているとのこと。後でコピーして配布する。